

地域とのつながり



文化の保存・継承

[ローカライズの推進]

当社はCX（カスタマーエクスペリエンス）の創造によるリアルモールの魅力の最大化をめざし、ローカライズの取り組みを深化させています。国内では、経営ビジョンの一つである「私たちは、パートナーとともに、地域の魅力を磨き続ける究極のローカライズに挑戦します。」の実現に向けて、全国のモールで「産」（企業）、「学」（教育機関）、「官」（行政）、「民」（団

体）、「文」（文化・歴史）、「品」（産品）の6分野におけるコラボレーションにより、地域の魅力を磨き続ける「究極のローカライズ」企画を2015年より推進しています。同様の取り組みを、2021年より中国で実施しており、海外においても地域の魅力を発信する取り組みを推進することで、地域におけるイオンモールの存在価値を向上させていきます。

[各モールのローカライズの取り組み]

「究極のローカライズ2021」には日本全国のモールで勤務する社員から354企画が考案され、うち11企画が2021年度に開催されました。また、中国でも初めての試みとして山東省

■ 国内「究極のローカライズ2021」最優秀企画

イオンモール羽生「彩×北 Nature Project」

2021年10月から11月にかけて、地域の緑豊かな自然の魅力を知っていただくことを目的に、埼玉県北部の羽生市・加須市・行田市・鴻巣市の4市と、各市で活動している諸団体と連携し、県内に自生する植物の展示や紹介ブースの設置、天体観測など、実際に自然環境に触れていただく企画を実施。お子さまとともに、ご家族で楽しみたいいただきました。



■ 中国での取り組み

山東省煙台市は、現在約4人に1人が高齢者と言われていています。イオンモール煙台金沙灘は、高齢者のお客さまが生き生きと自己表現する場を提供。行政や地域コミュニティなどさまざまな団体と連携し、無料健康診断、詐欺防止講座、髪のカットサービス、広場ダンス大会などを開催しました。

エリアの2モールから13企画が集まり、その中から3企画を選出・実施しました。

イオンモール成田「Hakko(発酵)フェスタ in なりた」

2021年9月に日本古来より親しまれてきた千葉の発酵文化のすばらしさを日本・世界に発信し、日々の食について考えていただく機会づくりをめざし、「発酵」をキーワードにバーチャル醤油工場・酒蔵見学会、自家製ぬか漬けの食育ワークショップなどのイベントを実施しました。またライブショッピングシステムも活用し、海外含め多くの方にご参加いただきました。



少子化・高齢化社会

[各モールの取り組み]

■ 仕事体験テーマパーク「カンドゥー」

イオンモール幕張新都心では、お子さまが楽しく学べる仕事体験テーマパーク「カンドゥー」を展開しています。パイロット、警察官、ユーチューバー、モデルなど、あこがれの職業にチャレンジでき、親子3代でお楽しみいただけるテーマパークとなっています。2022年3月にスタートした新コンテンツ「イマーシブ ファイアファイター」はAR（拡張現実）をはじめとする最新デジタル技術と“没入型演出”（=イマーシブ/Immersive）を融合させた仕事体験エンターテインメントです。近未来の消防士体験を通し消防士の仕事の大切さに触れることができます。



「カンドゥー」の新コンテンツ「イマーシブ ファイアファイター」
(Immersive Firefighter)

■ 地元の特色を活かした学習スペースの設置

2021年3月、イオンモール神戸南（兵庫県）では、地域の皆さまの「子どもたちが自由に勉強できる場所がほしい」という声にお応えして館内に学習スペース「みんなの学び場」を開館しました。自習スペース40席、読書席18席を用意し、いつでも誰でも個人学習や読書ができるほか、兵庫区ならではの多文化交流や絵本の読み聞かせなどのイベントを開催。室内のイラスト装飾には、兵庫区を拠点に活動するザ・ロケット・ゴールドスター（山崎秀昭氏）を起用するなど、兵庫区らしさに徹底的にこだわった空間を実現しました。



「みんなの学び場」

■ 認知症の方も安心して来店いただけるモールへ

イオンモールではいち早く認知症の問題と向き合い、現在約860名の従業員が「認知症サポーター」に登録されています。各モールでは、専門店従業員さまも対象にした「認知症サポーター養成講座」を定期的に開催、お客さま向けの啓蒙イベントも開催しています。



認知症サポーター講座の様子

■ イオンモールウォーキング

お客さまの健康的な生活をサポートするため館内にウォーキングコースを設置し、お買い物しながら気軽に運動できるイオンモールウォーキングを国内ほぼすべてのモールで実施しています。

2021年9月～2022年3月には、地域の皆さまの健康やコミュニティに及ぼす影響を明らかにすることを目的に、千葉大学予防医学センターとともに「イオンモールウォーキングと健康」を題材にした共同研究を実施。分析の結果、ウォーキングプログラムの利用が、利用者の歩数や、ウォーキング習慣度の向上と関連していることが明らかになりました。

